



# 明治 150 年 尾張造りだった熱田神宮

今、私たちが見ることのできる熱田神宮は、伊勢神宮風の「神明造り」ですが、『尾張名所図会』に描かれた「熱田大宮」の姿は、今とは全く違っていました。屋根に鰹木のない「尾張造り」の社で、その位置も、表参道を含め、今より東にありました。明治の時代に大きく様変わりしていたのです。

今回、明治150年記念講演として、歴史の町熱田の魅力を全国に発信し続ける「あつた宮宿会」相談役でNPO法人「堀川まちネット」理事長の川口さんにお話しいただきます。

頼朝、信長、歴代尾張藩主や芭蕉が見た明治以前の「熱田の社」を実感し、熱田の昔に思いを馳せていただく企画です。

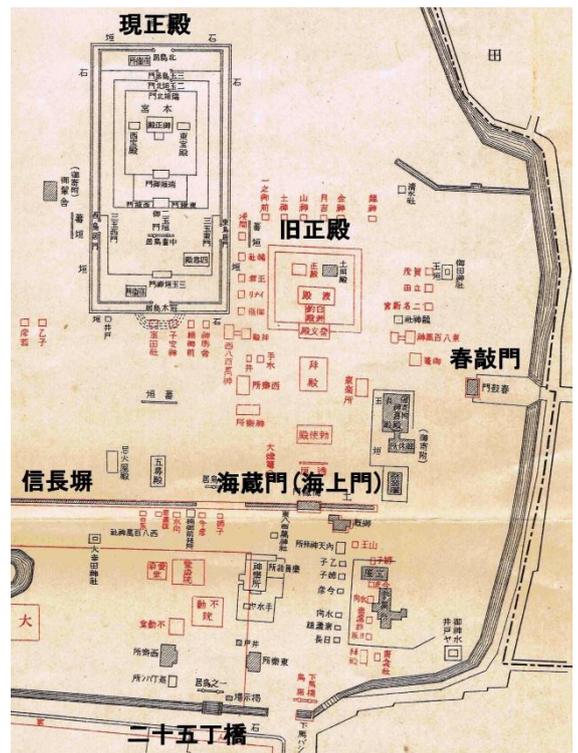
**日時** 平成30年9月26日(水)  
13:30~15:00

**場所** 熱田図書館集会室

**講師** 川口正秀さん  
(NPO法人堀川まちネット理事長)

**対象・定員** 一般・40名

**申込** 9/12(水)11:00から  
(電話申込可、先着順)



明治26年4月熱田神宮改築及明治以前建造物位置推定図 『名古屋市史(地図編)』  
名古屋市役所1915年(当館所蔵)より



**問合せ先 名古屋市熱田図書館**

熱田区神宮三丁目1-15

電話 (052) 671-6600

FAX (052) 671-5600